

「深く・粹で・美しい」信念を、垣間見た気がします

吉村由佳里 吉村音楽研究室 代表 音楽講師

石川信義 先生

この度は、一生忘れられないご講演を賜り、また放課後までお付き合い頂きまして、誠にありがとうございました。

放課後の後の集合写真で、石川先生に肩を抱き寄せられた瞬間に思わずドキドキしてしまった衝撃は、私の動物的本能だった様な気がします。自分でもビックリしました。大変失礼しました。

ご講演の内容につきましては、初めて知る事ばかりで、私はつくづく勉強不足と悔い改めました。驚いたのは、先生がお話された流れや内容が、この日にサインを頂き家で拝読した「心病める人たち」とほぼ一緒だった事です。

伝えたい大切な事が心身にしみ込んでおられるお姿に、精神医療の極道を歩んで来られた先生の「深く・粹で・美しい」信念を垣間見た気がします。

1962年、先生が医局長に呼ばれ初めてご覧になられた劣悪な精神病院への衝撃は計り知れません。

それを根底から覆すカギとなったのが、ヒマラヤの自然の「美しさ」でした。山登りのご経験が前例を超えて創造する命がけの覚悟にも繋がったのではないかと思います。

鍵を武器にして医療が支配する関係では無く、人間の尊厳を大切に、お互いの信頼のもと水平な関係であること。

先生が創立された三枚橋病院はその理想を現実としたそれまでに類の無い、患者さんにとって居心地の良い居場所となりました。

《 私の心に響いた言葉 》

- 一緒に泣く事ができる。一緒に苦しむ事ができる。
- 患者さんの病的なものを見ない。ほじくりかえさないで、良い健康なところだけ見つめて大きく考える。
- 研ぎ澄ませて感じたもの、動物的なもの、理屈でなく。
自分の生い立ちの中で感じたものを大切にすれば、世間の間違いやひっくり返さなければならぬものが解る。
- 人は、自分の限界を試してみたいという本能があるのでは？
- 人生は闘い。
- 「美しいものを追求しよう」
ドン・キホーテ。これこそが医療を変える。

最後に、由紀せんせいが繋げて下さいました、石川信義先生とのご縁に、心より感謝申し上げます。